

1. 研修の目的

多面観察評価研修は、単に多面観察評価結果が「良い・悪い」ということから脱し、被評価者本人がこれまでに行ってきた管理者としての行動や発言を棚卸しさせ、他のメンバーに自己開示(ディスクローズ)することにより、自らの新たな管理者像を明確にさせていただきます。その上でアクションプラン作成いただき、決意表明することにより真の優れた管理者を目指していただくことを狙いとします。

2. 研修の形式

- ① 5～6名を1グループとしてグループ討議形式により進めていきます。
- ② 各グループにはファシリテーター(講師)が1名が付き添い、グループ討議が円滑に進むように指導・アドバイスいたします。
- ③ 必要であれば(結果に対するショックが大きい方)、個人面談(簡易的なカウンセリング)を実施し、適切なアドバイスを行います。

3. 研修カリキュラム

《2日間コース》

		研修内容	進め方
第1日目	午前	1. オリエンテーション 2. 導入レクチャー 「とりまく環境変化と今後のあり方」 ・時代は今、大変革期を迎えている！ ・激動変革時代の本質 ・パラダイムシフトが重要！	レクチャー
	午後	3. グループ討議 「とりまく企業環境変化と管理監督職の役割」 ・どんな変化が起こっているか ・それらの変化は私たちにどんな影響を与えるか ・それでは、今後私たちはどうあるべきか	意見交換
第2日目	午前	4. 全体発表 「私たちはこのように考えた」 5. 核心レクチャー 「これからの管理監督者に求められるもの」 ・これからのマネジメントのあり方 ・管理監督者として求められる4つのシコウ	発表&意見交換 レクチャー
	午後	6. ガイダンス 「多面観察システムのディメンジョンとその見方」 ・多面観察システムとは ・多面観察システムをどう活用するか ・多面観察システム Mbas の見方 7. マイ・チェック・タイム 「各自、他面観察結果を読む」 ・私の強みと弱みは何か ・自己評価と他者観察のギャップ原因を考える	解説 各自作業

		研修内容	進め方
第2日目	午前	1. 多面観察結果を基にした意見交換の意義 2. 意見交換 ※ 「私の強みと弱みをふまえて、今後どうする」 ・私はこのように捉えた ・こんなことを考え、やってみたら・・・	解説 相互アドバイス
	午後	3. 意見交換(つづき) 4. 行動計画作成 「各自、イノベーションプランをまとめる」 ・多面観察結果を活かす 5. 相互啓発 「各自、イノベーションプラン発表」 ・私は、このように取り組む ・互いに比べて学んでがんばろう (応援メッセージ) 6. 統括レクチャー 「自主自立自責型リーダーに脱皮しよう」 ・業務革新は、まず自己革新から ・自己変革を阻む敵は・・・ ・勇気と気迫と自信を持って雄々しく前進しよう	各自作業 グループ内発表&エール交換 レクチャー

《1日間コース》

時間	研修内容	進め方
9:00～10:00	1. 導入レクチャー 「とりまく環境変化と新しいマネジメントのあり方」 ・時代は今、大変革期を迎えている！ ・これからのマネジメントのあり方 ・管理監督者に求められる要件	レクチャー
10:00～11:00	2. ガイダンス 「多面観察評価システムのディメンジョンとその見方」 ・多面観察評価システムとは ・多面観察評価システムをどう活用するか ・多面観察評価システム Mbas の見方	解説
11:00～12:00	3. マイ・チェック・タイム 「各自、他面観察結果を読む」 ・私の強みと弱みは何か ・自己評価と他者観察のギャップ原因を考える	各自作業
13:00～15:00	4. 意見交換 ※ 「私の強みと弱みをふまえて、今後どうする」 ・私はこのように捉えた ・こんなことを考え、やってみたら・・・ ・相互啓発、相互練磨、相互信頼	相互 アドバイス
15:00～16:00	5. 行動計画作成 「各自、イノベーションプランをまとめる」 ・私は、このように取り組む	各自作業
16:00～17:00	6. 統括レクチャー 「自主自立自責型リーダーに脱皮しよう」 ・業務革新は、まず自己革新から ・自己変革を阻む敵は・・・ ・勇気と気迫と自信を持って雄々しく前進しよう	レクチャー

《半日間コース》

時間	研修内容	進め方
9:00～11:00	1.. ガイダンス 「多面観察評価システムのディメンジョンとその見方」 ・これからのマネジメントのあり方 ・管理監督者に求められる要件 ・多面観察評価システムとは ・多面観察評価システムをどう活用するか ・多面観察評価システム Mbas の見方	解説
11:00～12:00	2. 質疑応答 「各自の多面観察結果を活かすために」 ・多面観察結果の見方での疑問点解消 ・勇気と気迫と自信を持って雄々しく前進しよう	質疑応答

《社内ファシリテーター養成コース》

時間	研修内容	進め方
9:00～10:30	1. 「多面観察評価システムのディメンジョンとその見方」 ・多面観察評価システムとは ・多面観察評価システムをどう活用するか ・多面観察評価システム Mbas の見方	レクチャー
10:30～12:00	2. プロファイル演習 ・実際の M o a s 診断書を使ってプロファイリング	演習
13:00～14:00	3. コーチングスキルの習得 ・基礎的なコーチングスキルを習得	レクチャー
14:00～17:00	4. ファシリテーター演習 ・適切なアドバイスが実施できるか ・討議と違った方向にいかないか ・受講生に勇気を与えられるか	演習

4. カウンセリング的面談

業務運営上、集合研修が行えない場合には、上記研修とは異なり直接個人に指導・アドバイスを行うカウンセリング的面談プログラムをお勧めします。また、面談していく中で逃避的行動、攻撃的行動などの問題言動が見られる方に対しては簡単なレポートを総務人事部に提出します。

- ① 面談時間 40～50分
- ② 1日の面談人数 7～8名(最大)

5. 社内ファシリテーター養成コース

多面観察評価システム又は研修を継続的に実施していただくために、社内ファシリテーター養成コースもご用意しております。

- ① コース最大人数 5～6人
- ② コース時間 約7時間

※ 社内ファシリテーター養成コースを受講していただく受講生には、事前に多面観察評価システムを受けていただく必要があります。